

公益財団法人 JKA 2023 年度福祉車両整備補助事業
評価会議 議事録

- 1.日 時 令和6年2月7日(水)
- 2.場 所 大阪市西淀川区福町2丁目11番7号
介護老人保健施設なごみだいら 1階会議室
- 3.出席者 理事長、車両管理者、車両使用者、事務員
- 4.評価内容

公益財団法人 JKA「2023 年度福祉車両整備補助事業」を活用し、福祉車両を導入した事により得られた成果と問題点について会議し、自己評価を行った。

◆成果と今後の対応

- ・今回導入した福祉車両はトヨタハイエースであり、車いす仕様でストレッチャーに対応している事から、柔軟な対応が可能で既存の車両と併用し、送迎・受診の際に非常に役立っている。また、乗降口付近に手すりを取り付けた為、歩行者が乗降する際に安定して乗降でき、事故・ヒヤリハットを防ぐ事ができている。
- ・今後、高齢化が進む社会において、利用者様の様々なニーズに応えるべく、福祉車両を活用し安心・安全なサービスを提供していきたい。また、補助事業により整備した事を積極的にアピールし、他事業者にも補助事業を周知していただき、地域貢献を推進していきたい。

◆問題点

- ・行政より、高齢者施設はコロナ高リスクである事から、引き続き利用制限の旨の通達が出ており、デイについては受入制限を行っている。事前の計画ではデイが本格稼働後、1日15名の車両利用者数を予定していたが、現状は3名程の状態である。ただし、緊急でショート利用が必要な在宅ケースについては、受入機関が乏しいことから、積極的に受入を行っている。
- ・納車時にオプションの付け忘れがあった。事務員と販売業者との間で緻密な打ち合わせを行い、購入する車両・オプション・金額等について徹底的な確認をするべきであった。付け忘れのオプションについては納車から1ヶ月後に取り付けを行った。